

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成 2 5 年度 第 1 回 相模原市母子保健事業推進懇談会				
事務局 (担当課)		保健所健康企画課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 3 4 5 (直通)				
開催日時		平成 2 5 年 7 月 2 6 日 (金) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 0 5 分				
開催場所		ウェルネスさがみはら A 館 3 階 一般健診室				
出席者	委員	8 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人				
	事務局	4 人 (健康企画課長、他 3 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 あいさつ 2 議題 (1) 平成 2 4 年度母子保健事業の実施結果について (2) 相模原市母子保健計画の改定について 3 その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言 は事務局)

1 あいさつ

健康企画課長あいさつ

座長あいさつ

2 議題

(1) 平成 2 4 年度母子保健事業の実施結果について事務局より説明を行った。

母子健康手帳の特殊交付ですが、分娩後に交付したケースなどの場合、その背景や児の発育状況の追跡調査などで状況を把握する必要があるのではないかと。

2 4 年度は特殊交付のうち分娩後の交付は 6 件であった。背景としては、生活困窮者などの事例があった。今後は、そうした状況の背景やその後の児の発育状況など事例ごとの分析・把握について検討して参りたいと考えております。

妊婦健康診査は何回分補助があるのか。

1 4 回分の補助であり、実績から平均すると 1 2 回使用している。

妊婦歯科健康診査の対象者はどのような人か。妊婦に対して少ないようだが。

母親・父親教室(ハローマザークラス)の歯科講義を受講し、その中で健診を希望した者や、妊婦歯科教室を受講した者を対象としているが、現状としては受診が少ない結果である。妊娠期に歯科健康診査を受診するなど歯の健康を保つことは、その後の乳幼児の歯の健康にもつながることから、母子手帳配布時にすべての妊婦に周知しているが、継続して啓発を行っていききたい。

高等学校において、特別支援教育の対象者が、支援が必要な生徒であることを周囲からなかなか理解されず、苦慮している現状がある。幼児期などの早い段階で、保護者等も含め関係機関や行政機関が連携して、情報の共有や状況に応じた対応などができないものなのかどうか、そのあたりの状況はいかがでしょうか。

数年前から発達障害に関するスクリーニングの機会や支援システム構築の必要性は関係機関から出ております。相模原市では、昨年 1 0 月に発達障害支援センターが設置されたが、今後、より充実した支援をするために機能するには、関係機関での連携等含め課題もあるのが現状である。

経過健診の内訳はどのようなものなのか。詳細を分析していく必要があるのではないかと。

低年齢ほど身体的な発育が主な問題であるが、年齢が上がるに従い発達の問題が増えていく傾向にあります。現状把握により経過健診を行っておりますが、詳細分析までは至っておりませんので、検討して参りたい。

乳幼児健診(集団)で特に旧津久井地域で会場により受診率のバラつきがみられ

る。受診を指定された会場と、実際に受診した会場の調査や、保護者にとって本当に受診しやすい会場の設定や理想的な受診の方法など検討した方が良いのではないか。

ある会場では、受診率が低くなっているが受診をしていないわけではなく、指定された会場以外で受診をしている現状がある。住所地と受診会場の分析も今後必要だが全体としての受診率で評価している。

(2) 相模原市母子保健計画の改定について事務局より説明を行った。

特に質問はなし。

(3) その他

「不妊症および不育症に関する専門相談の実施について」「相模原市歯と口腔の健康づくり推進計画策定について」事務局より説明を行った。

不妊症および不育症に関する専門相談事業の周知はどのようにしているのか。関係機関でも事業の事を把握していないのではないか。事前に関係機関に周知を徹底していれば、もっと効果的な事業展開ができるのではないか。

広報さがみはらやホームページでの周知、また不妊症外来のある医療機関へパンフレットを設置しておりますが、すべての婦人科に情報があるのではないため、効果的な周知を図るように努めて参りたい。

相模原市歯と口腔の健康づくり推進計画策定について、諮問機関として「相模原市地域保健医療審議会」とあるが、地域保健医療検討会で十分に検討することが必要ではないか。また、意見聴取機関として相模原市歯科保健事業推進懇談会が設置されているが、歯科医師会との調整はどのようになっているのか。

当計画については、「母子保健計画」と同様に懇談会を平成24年度に立上げ、ご意見をいただきながら進めております。歯科医師会とも調整をさせていただいた上で、2名の方に委員として御参画いただき、貴重な御意見を頂戴しております。情報提供だが、分娩前後の母親のストレスを軽減サポートする体制を県でも始めている。国からの補助金の対象にもなっている。

こども青少年課で所管している、協同事業提案制度事業「子育て応援情報配信事業」には、健康企画課としてどのようなスタンスで関わっているのか。子育て支援として有効なものとして認識しているのか。

児の誕生日を登録し、対象月齢になると乳幼児健診の案内が受信されるような内容を提供している。すでに乳幼児健康診査の案内については、適宜郵送されるシステムとなっているが、このネットワークでの情報発信によりダブルチェックがされるもので有効性があると捉えているが、限られた範囲での情報発信になるので、配信の内容や費用対効果も含め、今後も検討していくものである。

- ・ 2回母子保健事業推進懇談会については、様々な事業等の進捗状況を踏まえ、改めて開催時期等を周知する。

以 上

平成25年度母子保健事業推進懇談会出席者名簿

範囲名	所属等	氏名	第1回 出欠
保健医療 団体の代 表	相模原市医師会	大山 宜秀	出
	相模原市医師会	田島 敏久	出
	相模原市歯科医師会	塚田 美紀	出
	神奈川県栄養士会	岩本 淳子	出
	神奈川県歯科衛生士会 相模原支部	安部 美紀	出
	神奈川県看護協会 相模原支部	入江 暁子	欠
学識経験 のある者	北里大学	中村 信也	欠
	和泉短期大学	武石 宣子	出
関係団体 の代表	県立学校長会議地区別会議 相模原地区	大塚 彰吾	出
	相模原市立小中学校長会	小田 利子	欠
	相模原市幼稚園協会	岩本 勉	欠
	相模原市私立保育園園長会	舟山 千佳	出